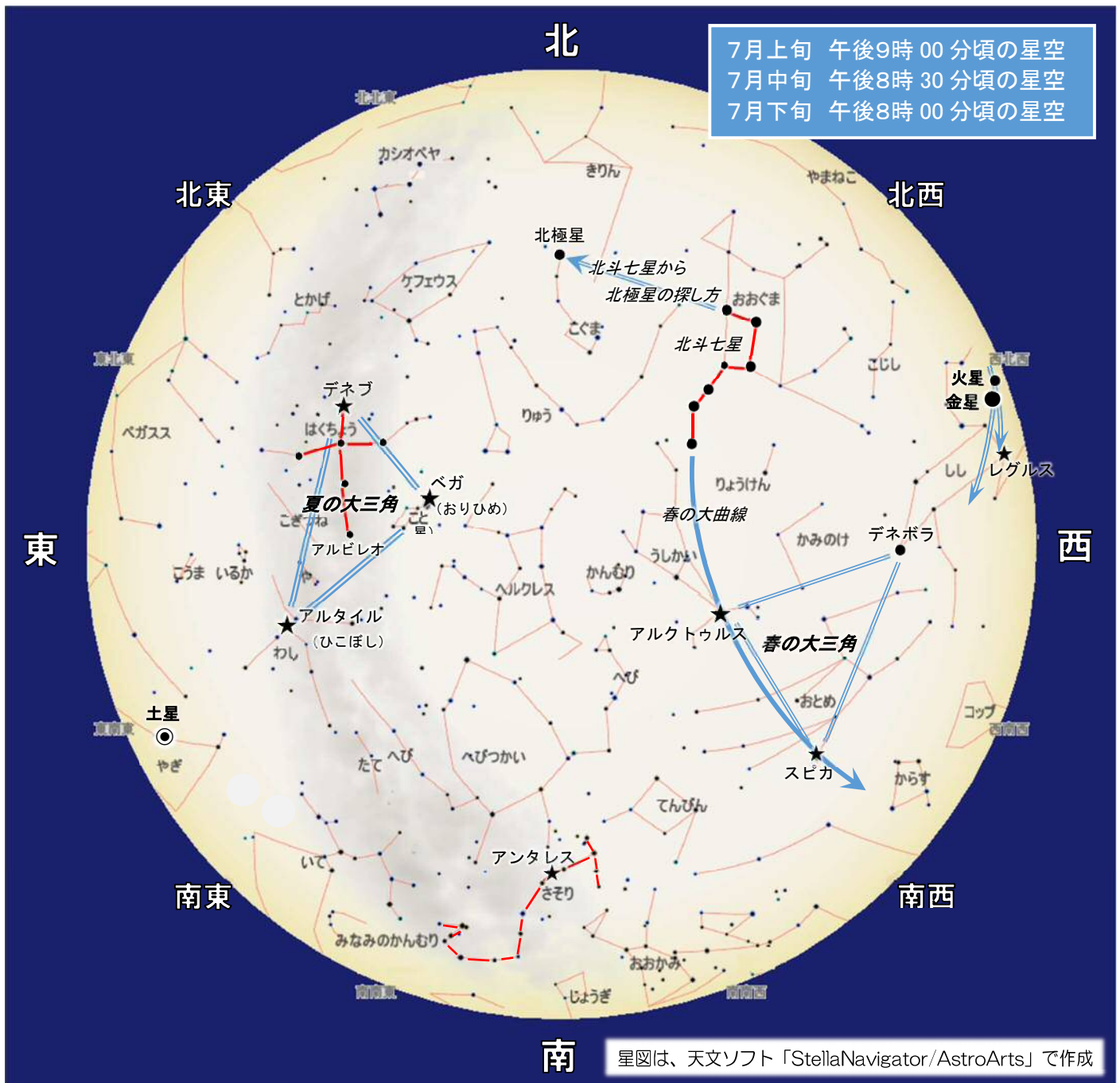


2021年 7月の星空案内



【7月の星空】

空がすっかり暗くなるころ、東の空から天の川が昇ってきます。天の川の両岸には、七夕の星「こと座のベガ（おりひめ星）」と「わし座のアルタイル（ひこ星）」が輝き、この2つの1等星に「はくちょう座のデネブ」を加えてできる とがった三角形が『夏の大三角』です。7月初めは雨の多い時期です。七夕は、もともと旧暦7月7日（今年は8月14日）の行事で、こちらを「伝統的七夕」と呼びます。

南の空の低い位置に輝く赤い星は「アンタレス」、この星を中心にSの字を横にのばしたような星の並びが「さそり座」です。南の空が開けたところで見つけてみましょう。

【7月の惑星】

夕方の西空には「金星」が目立ってきます。今年の暮れまで「よいの明星」として輝きます。夕方の低い空ですが、13日には「火星」と大接近し、12日には細い月も2惑星の近くに見えます。西の空太陽が沈んだ後に探してみましょう。

夜半の南の空には「土星」と「木星」が輝きます。25日には満月と土星が、26・27日には月と木星が接近します。木星と土星は、このあと秋まで観望の好機をむかえます。